

地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業

事業目的

地域の特性を活かした、史跡、名勝、天然記念物及び埋蔵文化財の総合的な公開活用を推進する。

事業内容

1. 補助事業者

史跡等の所有者又は文化財保護法(昭和25年法律第214号)第113条若しくは法第172条の規定により史跡等の管理を行うべきものとして指定された管理団体及び地方公共団体その他の法人とする。

2. 補助対象事業

補助対象となる事業は、史跡等及び埋蔵文化財の公開活用のために行う次に掲げる事業とする。

ただし、(1)ア～オの事業を行おうとする場合には、(1)(3)に掲げるもののうち6つ以上を選択するものとする。

(1) 史跡等の総合的な公開活用のための整備に係る事業

- ア 史跡等の全体像を認識できるような復元的整備(生態系の復元的整備を含む)
- イ 史跡等の往時の姿をしのばせる歴史的建造物の復元
- ウ 史跡等の実物遺構等を見るために必要な保存展示施設の設置
- エ 史跡等の野外観察等のための施設の設置
- オ 史跡等のオリエンテーション及びガイダンス、体験・活用等のために必要な施設の設置
- カ ア～オで設置した施設等の改修
- キ 史跡等における便益施設(休憩施設・便所等)の設置・改修、管理運営施設の設置・改修
- ク 史跡等の公開活用上必要と認められる遺構等の調査、環境整備
- ケ 史跡等の公開活用上必要と認められる重要な構成要素をなす建造物等についての耐震診断及び耐震等対策
- コ 史跡等の公開活用上必要と認められる地形等について行う土砂災害の防止等の措置

- (2)埋蔵文化財の公開及び整理・収蔵等を行なうために必要な設備整備(廃校施設の改修等)に係る事業
ア 埋蔵文化財センター(埋蔵文化財の調査、出土文化財等の整理、収蔵、展示等を主として行うために必要な施設)の収蔵・防災及び展示設備整備
イ 埋蔵文化財の公開を目的とした展示施設(以下「埋蔵文化財展示施設」という。)の展示設備整備
- (3)史跡等及び埋蔵文化財の普及・啓発に係る事業
ア 史跡等及び埋蔵文化財の案内板・説明板等の設置
イ 史跡等及び埋蔵文化財の公開活用のために必要な広報・資料の作成及び配信に関する事業
ウ 史跡等及び埋蔵文化財を理解するための体験学習会・講演会・シンポジウム・公開講座等の公開・普及啓発事業
エ 史跡等及び埋蔵文化財の公開活用のために必要な台帳の作成・更新及び報告書が刊行された埋蔵文化財(出土品・記録類)の分類・再分類・
収納・再収納等
オ 史跡等及び埋蔵文化財を理解するために必要な屋内模型等の製作

3. 補助対象経費

(1)主たる事業費

① 史跡等の総合的な整備に係る事業

- ア 史跡等の復元的整備工事経費 イ 歴史的建造物等の復元工事経費 ウ 遺構等露出保存展示施設設置工事経費
エ 野外観察施設設置工事経費 オ ガイダンス等施設設置工事費 カ 設置施設等改修工事費
キ 遺構等模型設置工事経費 ク 便益施設等設置・改修工事費 ケ 遺構等調査、環境整備等経費
コ 建造物等耐震診断、耐震等対策経費 サ 土砂災害防止対策工事等経費

② 埋蔵文化財の公開及び整理・収蔵等を行なうために必要な設備整備に係る事業

- ア 埋蔵文化財センター設備整備経費・附帯工事経費 イ 埋蔵文化財展示施設設備整備経費・附帯工事経費

③ 史跡等及び埋蔵文化財の普及・啓発に係る事業

- ア 案内板・説明板等設置経費 イ 広報・資料作成及び配信等に要する経費 ウ 体験学習会等に要する経費
エ 台帳作成等に要する経費 オ 模型等製作経費

④ 設計料及び監理料 ⑤ その他の工事経費

(2)その他の経費

事務経費

4. 補助金の額

補助金の額は、次に掲げる場合を除き、補助対象経費の50%とする。

- ① 当分の間、補助事業者が沖縄県内に所在する者である場合にあっては、補助対象経費の80%とする。
② 当該年度の前々年度の財政力指数(地方交付税法(昭和25年法律第211号)第14条及び第21条の規定により算定した基準財政収入額を同法第11条及び第21条の規定により算定した基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値)が1.00を超える都道府県又は指定都市にあっては、財政力指数の逆数(調整率)を補助金の交付額に乗じた額とする。

期待される効果(1)－①

1. 史跡等の総合的な公開活用のための整備に係る事業による効果

- ①保存のための施設だけでは、遺跡等が本来機能していた時の様子が理解しにくいのが、歴史的建造物や施設・植栽等の復元、屋外模型の設置によって、学習の機会を提供する。
- ②ガイダンス施設や遺構等の展示施設、野外観察施設等の設置により、その史跡等の実際の特徴などを理解しやすくなる。
- ③史跡等における歴史的建造物の耐震診断を実施したり、地震等で石垣が崩落しないようあらかじめ改修を施し、安全な利用の促進が期待できる。

歴史的建造物の復元

五稜郭跡:北海道函館市

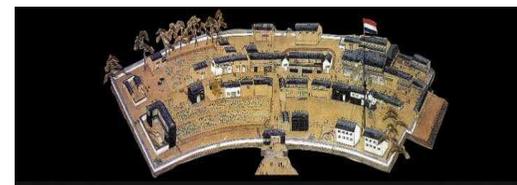


特別史跡五稜郭跡の中央部に箱館奉行所を復元。行政機関であった本来の機能が理解されるようになった。工事中で現場も公開し、壁土塗りの体験の場も提供した。

出島和蘭商館跡:長崎県長崎市



発掘調査成果や絵画資料、模型、文献、古写真などを参考に町並みを復元中。内部の復元可能ものは再現し、資料が不足するものは管理施設として整備。一部では遺構も見ることができる。



期待される効果(1)-②

復元的整備

昼飯大塚古墳: 岐阜県大垣市

整備前



整備後



墳丘の一部で三段築成の本来的形態を復元。市民参加の葺き石貼り作業により一段目を復元。

ガイダンス施設の設置①

上淀麿寺跡: 鳥取県米子市



現地では基壇整備や遺構のレプリカ展示を行い、発掘調査成果などからわかる仏堂内をガイダンス施設内で再現展示。

ガイダンス施設の設置②

旧池田氏庭園：秋田県大仙市



名勝庭園の隣接地で、かつての村役場の外観を再現したガイダンスを設置。ビデオでの庭園の解説や休憩所、ボランティアの詰所として活用されている。



公開活用(安全)上必要な石垣の改修

福岡城跡上之橋御門：福岡県福岡市



上之橋御門跡は城跡公園や高等裁判所に通じる園路の脇の高い石垣を有するが、石垣の緩みや孕みを生じ、安全が確保できなくなったことから解体修理を行った。



期待される効果②

2. 埋蔵文化財の公開及び整理・収蔵等を行うために必要な設備整備に係る事業による効果

- ①埋蔵文化財の調査、出土文化財等の整理、収蔵、展示等を行うための埋蔵文化財センターを整備することによって、地方公共団体が行う埋蔵文化財発掘調査や整理作業をより円滑に遂行することができる。
- ②また埋蔵文化財センターは、発掘調査や整理作業で得られた成果に基づいて行われる公開活用事業の拠点となるとともに、市民への情報発信の場となることも期待される。

埋蔵文化財の公開及び設備整備

埋蔵文化財センター(廃校の活用):石川県小松市



小松市立埋蔵文化財センターは旧小松市立原保育園を改修し、展示・収蔵施設のほか、体験学習施設を整備したものである。また、重要文化財に指定された八日市地方遺跡の出土品に関しても、保管施設を設け、その活用に資するよう整備を行った。



期待される効果③

3. 史跡等及び埋蔵文化財の普及・啓発に係わる事業による効果

- ①案内板の設置や、広報資料の配付・発信、体験学習会・講演会・シンポジウム・公開講座の開催等により、史跡等及び埋蔵文化財への理解が深まることが期待できる。
- ②出土品や記録類の再分類・再収納及び台帳作成等を行うことによって、より効率的な公開活用を行うことが可能となる。

史跡・埋蔵文化財の普及・啓発



田熊石畑遺跡で、市民参加の芝生植栽。(福岡県宗像市)



土笛づくり(福岡県小郡市)



鋳型に鑞を流して鏡作りを学ぶ／火起こし体験(福岡県小郡市)



望遠鏡を覗くと、古代の建物が見える。(福岡県大刀洗町)



タブレットやスマホを用い、ARで古代の建物や建物内部を表示。長岡宮跡の大極殿跡と高御座。(京都府向日市)

用語	解説
史跡	貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅等の遺跡で我が国にとって歴史上又は学術上価値の高いものとして、文部科学大臣が指定したもの。
名勝	庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳等の名勝地で我が国にとって芸術上又は鑑賞上価値の高いものとして、文部科学大臣が指定したもの。
天然記念物	動物、植物及び地質鉱物で我が国にとって学術上価値の高いものとして、文部科学大臣が指定したもの。
埋蔵文化財	土地に埋蔵されている文化財の総称。
保存管理計画	史跡・名勝・天然記念物について、①保存すべき箇所、②保存の方法、③保存のためにどのような行為を行ってはいけないか、などの基準を示す。この基準に基づき、公有化や調査を進める。
整備基本計画	保存管理計画を受けて、保存を前提とした整備を行っていくための手法や工程、導入する施設の規模、事業費の概算額を示したもの。
埋蔵文化財専門職員	地方公共団体において埋蔵文化財保護行政に係る諸業務に従事する専門職員。 開発事業との的確な調整、発掘調査の管理・運営、発掘調査結果の整理・評価、発掘成果の活用等の業務を担当する。

平成25年度 補助対象事業の補助要件一覧

遺跡名	(1) 公開活用のための整備										(3) 普及・啓発					合計
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	ア	イ	ウ	エ	オ	
1 最寄貝塚	○				○	○		○			○	○	○			7
2 阿光坊古墳群	○			○	○		○	○					○	○		7
3 津軽氏城跡	○			○			○	○			○	○	○	○		8
4 志波城跡				○	○		○	○					○	○		6
5 伊勢堂岱遺跡	○		○	○	○						○	○	○			7
6 秋田城跡及び市内埋蔵文化財				○	○		○				○	○	○			6
7 旧池田氏庭園				○	○			○			○	○	○			6
8 小田城跡	○			○	○		○	○			○					6
9 箕輪城跡	○	○									○	○	○	○		6
10 小石川後楽園	○	○			○			○					○	○		6
11 八王子城跡	○				○		○	○					○	○	○	7
12 神崎遺跡	○				○		○	○			○	○	○			7
13 斐太遺跡群 吹上遺跡・釜蓋遺跡				○	○		○					○	○		○	6
14 韭山反射炉					○			○			○	○	○		○	6
15 新居関跡及び市内埋蔵文化財	○	○			○		○	○			○	○		○		8
16 小牧山				○	○		○	○			○	○	○	○		8
17 齋宮跡	○	○			○		○	○			○	○	○	○	○	10
18 久留倍官衙	○				○			○				○	○	○		6
19 恵解山古墳	○						○				○	○	○	○	○	7
20 尼寺廃寺跡				○	○		○	○					○	○		6
21 葉佐池古墳	○				○	○		○				○	○	○	○	8
22 水城跡	○		○		○			○				○	○	○	○	8
23 出島和蘭商館跡	○	○			○		○	○			○	○	○	○	○	10
24 熊本城跡	○							○			○	○	○		○	6
25 ガランドヤ古墳	○		○		○			○			○	○	○			7
26 広田遺跡					○		○	○			○	○	○			6
27 具志川城跡(久米島町)				○	○			○			○	○		○		6
28 びりか 絵鞆半島外海岸												○	○			2
29 びりか 襟裳岬											○	○	○			3
30 御所野遺跡						○							○			2
31 山形城跡								○		○			○	○		4
32 宮畑遺跡								○				○	○			3
33 金山城跡								○					○			2
34 石垣山								○								1
35 村上城跡及び市内埋蔵文化財								○		○		○		○		4
36 馬高・三十稻場遺跡ほか及び市内埋蔵文化財												○	○	○		3
37 松本城								○		○				○		3
38 苗木城跡								○		○				○		3
39 屋敷大塚古墳ほか												○	○			2
40 名古屋城跡								○		○				○		3
41 彦根城跡								○		○				○		3
42 宇治川太閤堤跡							○				○	○	○	○		5
43 大坂城跡						○		○			○	○				4
44 姫路城跡								○		○				○		3
45 赤穂城跡								○		○				○		3
46 篠山城跡								○		○				○		3
47 唐古・鍵遺跡							○	○								2
48 鳥取城跡附太閤が平								○		○		○	○	○		5
49 津山城跡								○		○				○		3
50 岡山城跡								○		○				○		3
51 萩城跡								○		○				○		3
52 屋島								○		○				○		3
53 高松城跡								○		○				○		3
54 宇和島城								○		○				○		3
55 高知城跡								○		○				○		3
56 福岡城跡ほか及び市内埋蔵文化財								○		○			○	○		4

平成25年度 補助対象事業の補助要件一覧

57	田熊石畑遺跡及び市内埋蔵文化財								○				○	○				3
58	池辺寺跡										○							1
59	熊本藩川尻米蔵跡						○		○			○						3
60	宇佐神宮境内						○											1
61	咸宜園跡								○				○	○	○			4
62	円覚寺跡								○		○					○		3
63	知念城跡								○		○	○				○		4
64	具志川城跡(糸満市)								○		○	○	○	○	○	○		6
65	中城城跡										○					○		2
66	今帰仁城跡附シイナ城跡								○			○						2
67	内間御殿								○		○					○		3
68	名護市嘉陽層の褶曲								○			○	○	○				4
	合計	18	5	3	11	23	6	17	54	0	24	26	34	38	43	9		

●地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業費国庫補助要項(抄)

3. 補助対象事業

補助対象となる事業は、史跡等及び埋蔵文化財の公開活用のために行う次に掲げる事業とする。ただし、(1)ア～オの事業を行おうとする場合には、(1)(3)に掲げるもののうち6つ以上を選択するものとする。

(1) 史跡等の総合的な公開活用のための整備に係る事業

- ア 史跡等の全体像を認識できるような復元的整備(生態系の復元的整備を含む)
- イ 史跡等の往時の姿をしのばせる歴史的建造物の復元
- ウ 史跡等の実物遺構等を見るために必要な保存展示施設の設置
- エ 史跡等の野外観察等のための施設の設置
- オ 史跡等のオリエンテーション及びガイダンス、体験・活用等のために必要な施設の設置
- カ ア～オで設置した施設等の改修
- キ 史跡等における便益施設(休憩施設・便所等)の設置・改修、管理運営施設の設置・改修
- ク 史跡等の公開活用上必要と認められる遺構等の調査、環境整備
- ケ 史跡等の公開活用上必要と認められる重要な構成要素をなす建造物等についての耐震診断及び耐震等対策
- コ 史跡等の公開活用上必要と認められる地形等について行う土砂災害の防止等の措置

(3) 史跡等及び埋蔵文化財の普及・啓発に係る事業

- ア 史跡等及び埋蔵文化財の案内板・説明板等の設置
- イ 史跡等及び埋蔵文化財の公開活用のために必要な広報・資料の作成及び配信に関する事業
- ウ 史跡等及び埋蔵文化財を理解するための体験学習会・講演会・シンポジウム・公開講座等の公開・普及啓発事業
- エ 史跡等及び埋蔵文化財の公開活用のために必要な台帳の作成・更新及び報告書が刊行された埋蔵文化財(出土品・記録類)の分類・再分類・収納・再収納等
- オ 史跡等及び埋蔵文化財を理解するために必要な屋内模型等の製作

史跡名勝天然記念物 指定件数変遷表

指定年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
史跡 (増加数)	1,522 -	1,554 (32)	1,592 (38)	1,598 (6)	1,623 (25)	1,640 (17)	1,661 (21)	1,681 (20)	1,694 (13)	1,709 (15)	1,724 (15)
名勝 (増加数)	325 -	328 (3)	338 (10)	345 (7)	349 (4)	351 (2)	357 (6)	360 (3)	369 (9)	374 (5)	378 (4)
天然記念物 (増加数)	966 -	971 (5)	971 (0)	974 (3)	982 (8)	980 (-2)	980 (0)	985 (5)	994 (9)	1,005 (11)	1,011 (6)
計	2,813 -	2,853 (40)	2,901 (48)	2,917 (16)	2,954 (37)	2,971 (17)	2,998 (27)	3,026 (28)	3,057 (31)	3,088 (31)	3,113 (25)
前年度伸び率		1.4%	1.7%	0.6%	1.3%	0.6%	0.9%	0.9%	1.0%	1.0%	0.8%

整備計画策定状況の年度別推移

策定年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
策定件数 (増加数)	397 -	405 (8)	416 (11)	426 (10)	435 (9)	441 (6)	464 (23)	480 (16)	500 (20)	517 (17)	550 (33)
前年度伸び率	-	2.0%	2.7%	2.4%	2.1%	1.4%	5.2%	3.4%	4.2%	3.4%	6.4%

※:各年4月1日現在

事業の変遷と実施状況

事業メニューは(1)と同じ
事業期間4年
単年度補助額上限6250万円

(2) 地域中核史跡等整備特別事業
平成4年度～平成8年度

(1) ふるさと歴史の広場事業
平成元年度～平成14年度

事業メニュー: 遺構全体模型の設置、遺構露出保護展示施設の設置、ガイダンス施設の建設等が対象
事業期間: 3年

(3) 大規模遺跡等総合整備事業
平成7年～平成8年度

事業メニューは(1)と同じ
事業期間5年
単年度補助額上限1億円

(6) 埋蔵文化財センター建設事業
平成8年度～平成15年度

埋蔵文化財センターの建設工事費
及び設備整備費が対象

(4) 地方拠点史跡等総合整備事業 (歴史ロマン再生事業)
平成9年～平成14年度

案内板・説明版の設置をメニュー追加
事業期間5年
単年度補助額上限1億8千万円

(7) 埋蔵文化財保存活用整備事業
平成16年度～平成22年度

埋蔵文化財センターの設備整備費
及び体験学習会、広報資料作成、
保存活用のための整理等が対象

(5) ふるさと文化の体験広場事業
平成15年度～平成22年度

事業メニューは(4)と同じ
事業期間5年
単年度補助額上限なし

(8) 史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業
平成23年度～平成24年度

ソフト事業(体験学習会・講演会・シンポジウム等の公開・普及啓発)をメニュー追加

(9) 地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業
平成25年度～

建造物等の耐震診断、耐震対策等、土砂災害防止等の措置をメニュー追加

○平成23～25年度に整備が完了した史跡等の活用実績

①	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	北海道網走市	最奇貝塚		H22	H25	住居跡復元、保護柵改修、ガイダンス施設設置、園路整備、説明板設置、広報資料作成、シンポジウム開催、体験学習実施
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	—	—	19,378人	ガイダンス施設(平成25年5月開館)	
教育機関利用数	—	—	21校 830人	ガイダンス施設の利用数		

②	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	北海道えりも町	ピリカノカ 襟裳岬 (オンネエンルム)		H23	H25	園路整備、案内板設置、説明板設置、広報資料作成、学習用資料作成、シンポジウム開催、体験学習実施
	各種実績					
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・整備中に、えりも町内の高齢者教室から「ピリカノカ襟裳岬について」の講演依頼があり、2教室60名に講話。 ・平成23年度：学習会・シンポジウム120名、現地視察70名 ・平成24年度：学習会60名 ・平成25年度：シンポジウム70名、現地視察40名 				

③	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	群馬県	上野国分寺跡		H24	H24	ガイダンス施設改修、広報資料作成、シンポジウム開催
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	5,910人	8,466人	7,944人	ガイダンス施設(平成24年度一部改修)	
	教育機関利用数	16校 835人	21校 1,307人	21校 830人	ガイダンス施設の利用数	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・整備後に上野国分寺愛好会が創立。イベントの開催、定期的な除草作業などを実施。 ・「上野国分寺まつり」参加者：平成23年度 808人、平成24年度 1,397人、平成25年度 1,623人 					

④	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	東京都武蔵府中市	武蔵府中熊野神社古墳		H20	H23	古墳復元、石室復元、ガイダンス施設設置、広報資料作成、体験学習実施
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	6,674人	10,065人	8,785人	ガイダンス施設(平成23年9月開館)	
教育機関利用数	2校 66人	4校 45人	5校 276人	ガイダンス施設の利用数		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡の指定後、武蔵府中熊野神社古墳保存会が創立。現在約330人の会員。古墳展示館の運営、見学者の対応を実施。 ・「古墳まつり」参加者：平成23年度 700人、平成24年度 1,000人、平成25年度 800人 					

補助事業者	史跡等名称	整備開始年度	整備完了年度	事業内容
新潟県新潟市	古津八幡山	H18	H23	ガイダンス施設設置、発掘調査、園路整備、案内板設置、広報資料作成、体験学習実施
各種実績				
⑤	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考
来訪者数	-	33,897人	35,547人	ガイダンス施設(平成23年9月開館)
教育機関利用数	-	28校 1,450人	23校 1,096人	ガイダンス施設の利用数
その他	・体験学習会参加者：平成24年度 3,250名、平成25年度 7,818名			

補助事業者	史跡等名称	整備開始年度	整備完了年度	事業内容
福井県勝山市	白山平泉寺旧境内	H20	H24	門復元、塀復元、ガイダンス施設設置、トイレ設置、説明板設置、映像ソフト作成
各種実績				
⑥	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考
来訪者数	-	9,525人	35,063人	ガイダンス施設(平成24年10月開館)

補助事業者	史跡等名称	整備開始年度	整備完了年度	事業内容
長野県長野市	松代城跡附新御殿跡	H16	H24	役人詰所整備、裏庭等整備、門復元、塀復元
各種実績				
⑦	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考
来訪者数	65,612人	61,594人	58,417人	新御殿跡の来場者数(平成24年度整備完了)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に特別公開を実施し、3日間で延べ2500人が来場。 「松代城春祭り」参加者：平成24年 5000人、平成25年 9400人 「真田十万石祭り(秋まつり)」参加者：平成24年 78,000人、平成25年 77,000人 			

補助事業者	史跡等名称	整備開始年度	整備完了年度	事業内容
長野県塩尻市	平出遺跡	H14	H23	ガイダンス施設設置、弥生農村復元整備、説明板設置
各種実績				
⑧	平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考
来訪者数①	12,782人	18,552人	13,536人	復元建物(平成23年4月開設)
来訪者数②	11,374人	11,990人	9,814人	ガイダンス施設(平成23年4月開館)
教育機関利用数	38校 1,738人	37校 1,790人	42校 2,062人	ガイダンス施設の利用数
その他	<ul style="list-style-type: none"> 整備後に平出遺跡公園協会(ボランティア団体)が結成。現在会員数56名。史跡公園の環境美化、イベントの支援を実施。 整備後に平出遺跡サポートどんぐりの会(ボランティア団体)が結成。現在会員19名。体験学習の指導を実施。 「ひらいで遺跡まつり」参加者：平成24年度 2500人、平成25年度 2000人 			

⑨	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	滋賀県守山市	下之郷遺跡		H20	H24	ガイダンス施設設置、発掘調査
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	7,213人	15,171人	22,882人	ガイダンス施設(平成22年11月開館)	
	教育機関利用数	6校 1,095人	5校 1,359人	7校 1,548人	体験学習参加数	
その他	・「下之郷遺跡まつり」参加者：23年度 950人、24年度 1200人、平成25年度 1300人					

⑩	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	兵庫県姫路市	姫路城跡		H25	H25	清水門石垣改修、石垣測量図化、報告書作成
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	610,515人	710,846人	880,546人	姫路城の来場者数	
	その他	・石垣改修の現地説明会に150名が参加。				

⑪	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	兵庫県赤穂市	赤穂城跡		H25	H25	二ノ丸石垣改修、発掘調査、石垣測量図化
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	25,414人	26,179人	28,006人	赤穂城の来場者数	
	その他	・平成26年2月の「教育委員会だより」に石垣修理についての特集記事を掲載。 ・毎月1回、石垣改修及び遺構調査の結果を公開。				

⑫	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	兵庫県篠山市	篠山城跡		H25	H25	内堀石垣改修、盛土整備、石垣測量図化
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	45,631人	48,212人	44,312人	篠山城の来場者数	
	その他	・石垣改修の現地説明会に60名が参加。 ・平成26年2月に実施した市民向け講座に30名が参加。				

⑬	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	鳥取県	妻木晩田遺跡		H17	H23	ガイダンス施設設置、園路整備、説明板設置
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	35,125人	33,032人	28,027人	ガイダンス施設(平成22年4月開館)	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・古代体験(火おこし体験・勾玉づくり)教育機関利用状況:平成23年度3,572人(68件)、平成24年度2,955人(45件) ・妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会、現在40人が会員登録。平成23年度8,418人、平成24年度9,613人、平成25年度5,558人の見学者対応。 ・「むきぼんだ祭り」参加者:平成23年度 春2,200人・秋2,800人、平成24年度 春2,400人・秋2,200人、平成25年度 春・秋 統合2,900人 					

⑭	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	鳥取県米子市	上淀廃寺跡		H11	H24	遺構復元、ガイダンス施設設置、トイレ設置、説明板設置
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	9,361人	6,903人	4,961人	ガイダンス施設(平成23年4月開館)	
教育機関利用数	4校 937人	6校 553人	5校 430人	ガイダンス施設の利用数		

⑮	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	島根県松江市	出雲玉作跡(宮ノ上地区)		H21	H23	ガイダンス施設設置、ベンチ設置、園路整備、説明板設置、広報資料作成
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	-	18,484人	25,576人	ガイダンス施設(平成24年4月開館)	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度「茶屋まつり」:1,200人来場 ボランティアガイド30名登録 ・平成25年度「茶屋まつり」&松江がジャグの日:2,000人来場 ボランティアガイド30名登録 					

⑯	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	島根県大田市	石見銀山遺跡		H18	H23	ガイダンス施設設置、トイレ設置、園路整備、案内板設置、説明板設置
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	130,800人	109,788人	109,298人	ガイダンス施設(平成20年4月開館)	
教育機関利用数	36校 1,761人	32校 1,346人	28校 983人	ガイダンス施設の利用数		

⑰	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	岡山県岡山市	岡山城跡		H25	H25	本丸石垣改修、発掘調査、石垣測量図化
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	201,348人	191,590人	199,954人	岡山城の来場者数	
	その他	・石垣改修の現地説明会に150名が参加。				

⑱	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	岡山県津山市	津山城跡		H25	H25	天守台石垣改修、石段修理、発掘調査、石垣測量図化
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	146,391人	160,559人	166,000人	津山城の来場者数	
	その他	・石垣改修の現地説明会に50名が参加。				

⑲	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	高知県	高知城跡		H25	H25	追手門石垣改修、説明板設置、石垣測量図化
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	277,117人	252,031人	260,807人	高知城の来場者数	
	その他	・石垣改修の現地説明会に95名が参加。				

⑳	補助事業者	史跡等名称		整備開始年度	整備完了年度	事業内容
	長崎県平戸市	平戸和蘭商館跡		H20	H24	商館復元、塀修理、園路整備、発掘調査
	各種実績					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	備考	
	来訪者数	68,388人	64,674人	54,844人	復元建物(平成23年9月開設)	
	教育機関利用数	3校 549人	6校 630人	8校 1,270人	復元建物の利用数	